

教育課程

第1章 教育目標と学校の基本理念

(1) 教育目標

本校は「自ら学び、正しく判断し、行動する力を備えた人間性豊かな生徒」の育成を目指す。知・徳・体の調和を図り、急速に変化する社会の中で、自立的・協働的に生きる力を育てる。

1. **自ら考え、未来を切りひらく生徒を育てる。**

課題を主体的に見つけ、粘り強く解決に取り組む探究心を育む。

2. **責任と共感に基づき、他者を尊重できる生徒を育てる。**

他人を思いやり、協力し合い、社会に貢献する意識を高める。

3. **健やかでたくましく、心身の調和がとれた生徒を育てる。**

健康の保持増進を図り、困難を乗り越える強さを身につける。

(2) 学校経営の基本理念

- ・ 「**自律・共生・創造**」をキーワードに、生徒・教職員・保護者・地域が共に学ぶ学校づくりを推進する。
- ・ 「**安心・信頼・挑戦**」の三要素を基盤に、学びの共同体を形成する。
- ・ 一人ひとりの学びを尊重し、失敗を恐れず挑戦する風土を醸成する。

第2章 教育の基本方針と重点施策

1 確かな学力の定着と学習の質的向上

- ・ 各教科で「**知識・技能の習得 → 思考・判断・表現の発展 → 学びに向かう力の深化**」を段階的に育成。
- ・ **主体的・対話的で深い学び**を重視し、発問・協働・振り返りを意識した授業改善を推進する。
- ・ 生成 AI、デジタル教材、データ分析ツール等を効果的に活用し、**個別最適化された学び**を展開。
- ・ 形成的評価・パフォーマンス課題を導入し、学習過程を評価する文化を定着。
- ・ 教員の校内研究・授業研究・指導法研修を体系的に実施。

2 豊かな人間性と社会性の育成

- ・ 学級活動・学校行事・生徒会活動を通して「**自治・協働・共生**」の精神を育てる。
- ・ 「特別の教科 道徳」では、価値の理解から実践までを重視し、体験的・討議的な授業を展開。
- ・ 奉仕活動・ボランティア活動を年間計画に位置づけ、社会貢献意識を育成する。
- ・ いのち・人権・平和・多様性の尊重をテーマとした**心の教育**を推進。

3 健康・体力・生活習慣の確立

- **包括的な性教育**を体系的に実施し、自己理解と他者理解を促進する。
- 保健体育科を中心に、健康調査や東京都体力テスト等のデータを活用した授業改善を進める。
- 食育・睡眠・運動・メンタルヘルスを総合的に扱い、生活リズムの安定を図る。
- 外部コーチや地域スポーツ団体と連携し、安全で充実した運動・部活動を展開する。
- 感染症対策や防災訓練を通して、健康・安全意識を高める。

4 道徳・公民的資質の育成

- 公正・責任・共生・多様性尊重などの**公民的価値**を日常生活の中で実践させる。
- 模擬選挙や地域課題学習などを取り入れ、**民主的意思決定力**を育てる。
- いじめ防止・人権教育・メディアリテラシー教育を連携的に推進。

5 ICT・AI時代に対応した教育の充実

- ICTを基盤とした**個別最適な学び**と**協働的な学び**の両立を目指す。
- タブレット・デジタル教科書・生成 AIなどを活用し、学習支援と探究活動を支える。
- 教職員の ICT リテラシー研修を定期的に実施し、デジタル指導力を高める。
- 「情報モラル教育週間」を設定し、SNS・AI利用の倫理的側面を学ばせる。
- **NEXT GIGA**を見据え、クラウド型校務・デジタルポートフォリオ・生成 AI 補助を段階的に導入。

6 特別支援教育および適応指導の充実

- **個別の教育支援計画・個別指導計画**に基づき、個々の教育的ニーズに応じた支援を行う。
- 関係機関・教育センター・福祉施設との連携を強化し、切れ目のない支援体制を構築。
- 校内に**安心できる居場所（相談室・学習支援スペース）**を整備し、登校支援を継続。
- 特別支援学級と通常学級の交流・共同学習を計画的に実施し、**インクルーシブ教育**を推進する。

7 探究的なキャリア教育の推進

- 総合的な学習の時間を軸に、「**自分を知り、社会とつながる学び**」を体系化。
- 地域・大学・企業と連携した探究型職業体験やキャリアインタビューを実施。

- ・ eポートフォリオを導入し、学びの履歴と自己理解を可視化。
 - ・ 将来設計・進路実現に向けた計画的支援（面談・ガイダンス・模擬面接）を充実。
-

8 国際理解・多文化共生教育

- ・ 海外連携校や地域国際交流団体との**オンライン交流プログラム**を実施。
 - ・ 英語によるスピーチ・プレゼン活動を通して実践的な言語運用能力を育成。
 - ・ 外国につながる生徒への学習支援・多言語掲示物など、学校全体の共生環境を整備。
 - ・ グローバル市民としての意識を育てる「**世界を学ぶ週間**」を設置。
-

9 安全・防災・危機管理教育

- ・ 年間3回以上の避難訓練・防災教育を計画的に実施。
 - ・ 防災・減災・避難所運営を扱う体験型学習を実施。
 - ・ 緊急時の連絡網・SNS緊急配信システムを整備し、訓練と運用を定期点検。
 - ・ 交通安全教室・防犯講話を関係機関と連携して実施。
-

10 環境教育・SDGsの推進

- ・ 環境美化・省エネルギー・リサイクル活動を全校で推進。
 - ・ 「地球・地域・未来」をテーマにした横断的学習を展開。
 - ・ 食品ロス削減・資源循環・地域環境保全活動を生徒主体で実践。
 - ・ SDGsを学年テーマに位置づけ、教科横断的に扱う。
-

11 地域連携・社会貢献活動

- ・ 学校支援ボランティア・地域協働本部との連携を基盤とし、開かれた学校運営を推進。
 - ・ 地域行事への参画、清掃・花壇整備・見守り活動などを継続。
 - ・ 大学・企業・行政機関との連携で、地域探究・課題解決学習を展開。
-

12 学校組織と教職員の資質向上

- ・ 校内組織を再編し、「**学力向上部門／生徒支援部門／地域連携部門／ICT推進部門**」を明確化。
 - ・ 校内研究会・主任研修・外部講師による授業力研修を継続的に実施。
 - ・ 若手教員へのメンター制度を充実させ、教員間の学び合い文化を形成する。
-

13 校務DX・働き方改革の推進

- ・ 校務支援システムの統合・電子承認・クラウド共有を進め、業務効率を高める。
- ・ 会議時間の短縮・文書電子化・業務分担の明確化を実施。

- ・ 「校務改善チーム」を設置し、生徒と教員が協働して学校運営の課題を分析・改善する。

1 4 ライフ・ワーク・バランスと職場環境の整備

- ・ 教職員が心身の健康を維持し、持続可能に働ける体制を構築。
- ・ 有給休暇・育児・介護・研修制度の活用を奨励し、生活と仕事の調和を支援。
- ・ ストレスチェックやメンタルケア相談窓口を設置。
- ・ 「支え合う職場文化」を育て、チームとしての安心感を重視する。

第3章 教育の特色・重点取組（実践事例）

1. 個に応じた学びの支援：
少人数・習熟度別指導、ティームティーチング、学習支援員活用、AIドリル導入。
2. 基礎基本の定着コンテスト：
漢字・計算・スペリング・時事問題などの年間通した取組。
3. 読書活動・新聞活用：
朝読書・新聞記事討論・言語活動の充実。
4. 学習支援プロジェクト：
地域ボランティア・大学生チューターによる「放課後学習会」の継続。
5. 人権カレンダー制作：
生徒作品を通して相互尊重・多様性理解を日常化。
6. オリンピック・パラリンピック教育：
スポーツ・ボランティア・障害理解・国際感覚を育てる教育活動。
7. 朝活動：
心身を整える朝の運動・文化活動を推進。
8. 校内居場所：
不登校生徒のための安心スペースを設置し、学びの再接続を支援。
9. 地域との協働事業：
花いっぱい運動・地域清掃・行事支援などの連携活動。

第4章 学校評価と今後の展望

- ・ 年度末自己評価・学校関係者評価・保護者アンケートを実施し、教育課程を継続的に改善。
- ・ 教員の授業評価と相互参観を義務化し、組織的学び合いを推進。
- ・ 教育データを分析し、AI・ICT・多文化・探究・地域共生を柱とした次世代教育へ発展。
- ・ 「生徒が自ら学びを設計し、地域とともに成長する学校」への転換を目指す。